

# すずかけ夏休み号

「一人一人が主人公」

豊かな心とやる気・

自信を育む若狭小

## 充実した1学期 感動のある夏休みに

校長 猪口 茂

4月8日の入学式・始業式から67日。今日で1学期も終了です。この4ヶ月、様々なところで子ども達の活躍や成長が見られました。最近の出来事から紹介します。

6月28日に、「子ども祭り」が行われました。「子ども祭り」では、3～6年生の各クラスが「風船バレー」や「ボウリング」、「魚釣り」といった工夫したお店を出しました。私も、椅子に乗って立った位置から割り箸を下にあるペットボトルの口を狙って落とす「ペットボトルダーツ」をしてみました。なかなか思ったように入らず、難しかったけれどとても楽しかったです。

それぞれのゲーム自体も工夫されていて楽しかったのですが、回っていて特に感心したのは、各お店で行われていた「わかりやすいルール説明」や「廊下で待つ人達を飽きさせないために用意されたクイズ」、「ゲームをしてくれた人達への気持ちの良いお礼の声」といった相手をもてなすための様々な工夫でした。そこからは、来てくれた人に楽しんでもらおうというあふれんばかりのホスピタリティが感じられました。

子ども祭りを成功させるために、各クラスでは代表委員会や学級代表の子ども達を中心に5月末ごろからお店の内容を考え、学級活動等の時間でコツコツ準備をしてきました。当日はその努力と工夫が実を結び、各お店を回っている子ども達はみな、素敵な笑顔でした。



ペットボトルダーツに集中する細田先生



7月に入り5・6年生の教室を訪ねると、かわいらしいアジサイの絵が「ありがとう」の文字とともに飾られていました。朝の準備や清掃を手伝ってくれた5・6年生へ1年生からのお礼です。習い終わったばかりのひらがなを遣って一生懸命書かれたお礼の言葉には、見ている私も温かい気持ちにされました。こうしたやり取りを通して子ども達は、人を思いやることとともに感謝の気持ちの伝え方を学んでいます。

学校で子ども達がこうした活動を行っているのも、通学路の安全を守るため、PTA 校外安全指導部を中心とした保護者の方々や見守り隊の方のたくさんのご協力があるからです。おかげで、登下校中の子どもたちが交通事故にあうこともなく、無事1学期を終えることができました。交通安全だけでなく、見守り隊の方々も通学路を通る班をよく把握していて、普段から全班が通過するまで待っていたり、途中で泣いている子やお腹が痛くて困っている子に対して、すぐに対応していただいたりしています。多くの大人が目で見守り、安全・安心を支えていただきました。あらためて感謝申し上げます。

長い夏休み、「家庭」や「地域」で過ごす時間が増えます。この時間をどのように過ごすかによって、2学期からの学校生活に影響が出てきます。規則正しい生活をしてこそ、健康で安全・安心な生活を送ることができます。テレビやゲーム機ばかりで過ごすのではなく、家庭での会話を増やして子どもたちの考えていることをもっと知ってもらえる機会になればと思います。

地域でもこの夏休みお祭り等地域の行事が行われます。積極的に、できれば親子で参加いただき、地域の人たちと交流を深めていただければと考えています。